

CASBEE神戸ver.3

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	中山視覚障害者福祉財団 新中山記念館	階数	地上5F 地下1F
建設地	神戸市兵庫区水木通2丁目1-3	構造	S造
用途地域	商業地域・都市計画区域内(市街化)	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2020年6月4日
敷地面積	1,402 m ²	作成者	竹中工務店 野村 直毅
建築面積	1,049 m ²	確認日	
延床面積	5,696 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

環境品質 vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 4
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 <p>4.0</p>	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 <p>3.4</p> Q-2/2.4 信頼性 <p>3.8</p>	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 <p>4.0</p>
配慮の概要 神戸市の条例上必要な箇所はもちろんのこと、視覚障害者の利用に配慮し、自主的に点字ブロック等の敷設を想定している。		
配慮の概要 免震構造を採用することで、上部躯体へ入力される地震力を大幅に抑えることで、材料使用量の削減を図っている。また、大地震時においても、層間変形角を抑え、躯体や外装の損傷、生産設備への影響を最小にとどめて建物の長寿命化および機能維持、早期事業復旧を可能としている。		
配慮の概要 地上部は敷地境界に塀を設けた閉鎖的な施設にするのではなく、歩道と一体となった空気を配置することで、地域に対して開かれた印象の配置計画としている。地上部の緑地は条例上不要であるが、自主的に街並みに配慮した常緑樹を配置。		
その他の配慮事項 ・既存地下躯体を利用することで、地下掘削工事を軽減している ・システム天井、スチールパーテーションを採用し、ボランティア団体等、活動が社会情勢により変動しやすい組織を受け入れるオフィスとして、変化に追随しやすい、将来工事を最小限にしたフレキシブルなオフィス計画としている。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される